

わが家のテーマは、「レトロ・ナチュラル」。
 カフェみたいなこの家で、いつか本当にカフェを開くのが夢。



里美さんファミリー
 Satomi San Family
 伸哉(しんや)さん、里美(さとみ)さんのご夫婦と、愛犬の小さ春(こはる)ちゃん(生後3ヵ月)。

お気に入りポイント3



伸哉さんと伸哉さんのお父さんが一緒につくったというコテージは、どう見てもプロの技!里美さん憧れのバラのアーチは、今伸ばしている途中。

お気に入りポイント2



伸哉さんの書斎は、シアタールームも兼ねています。ここで、映画を見ながら、仕事の疲れを癒しているのだとか。小さ春ちゃんもんびりな、落ち着く一室。

お気に入りポイント1



キッチンの脇にある、里美さんのワークスペース。前面に板を張り、お気に入りの雑貨を飾って、作業だけではなく、くつろぎのスペースができました。

ここもお気に入り



お茶を飲んだり、読書をしたり。和の雑貨を飾る場としても活躍している、和室。「ここに座るとほっとします」と里美さん。



ちょっと低めの玄関アーチは、「かまくらみたいにした」という里美さんの意図を取り入れた遠峰さんのアイデア。下駄箱は伸哉さんのお父さんの作。



レトロな雰囲気のシンクは、元は病院用。大きくて使いやすいも満点なのだそう。天板にはベージュの「モコモコタイル」を貼ってかわいい。



フランスの田舎の家をイメージした外観。すべて自分たちでつくった外構は、ガーデニングが趣味の里美さん、DIYが好きな伸哉さんの腕のたまもの。



週末になると、2人で庭に出て話し合います。
 今度は何を植えようか、何をつくろうか、って。



「玄関をかまくらみたいにしてほしい」など、わがままや難しいこともいっぱい言ったけど、遠峰さんは嫌な顔は全然せず、逆にこちらが思いつかないような提案をたくさんしてくれました。
 実は夫のお父さんは、家具職人。夫も器用でDIYが得意なんです。そこで、家の中の家具はほとんど2人でつくってくれました。私は塗装担当なので、合作ですね。
 この家に住んでからも、私はガーデニング、夫はDIYを楽しんでいます。週末になると、2人で庭に出て話し合っています。今度は何を植えようか、何をくろうか、って。一緒にゆくりお茶をしたり、夜はライトアップした庭でナイトガーデンを楽しんだり。いつか、ここで「お庭カフェ」ができたらいいな。

たくさんの子育て中のママ、パパからうれしいメッセージがたくさん届いています!



由季ママファミリーのお家
 始まりは、家づくり。インテリアも、手づくりも、夢中になって追いかけて、洋書だって読みました。



明希子ママファミリーのお家
 家を建てようと思ったとき、心に浮かんだ原風景は、古い宿場町の祖母の家でした。



理絵ママファミリーのお家
 洋書を読み、ランプシェードを船便で取り寄せて。この家は、今まで温めていた想いの結晶です。

F Ridge Home
 エブリッジホーム株式会社 茨城県鉾田市柏熊457-4
 TEL:0291-32-3139 FAX:0291-32-2843
<http://www.tomine.co.jp/> エブリッジホーム 検索



資料請求
 エブリッジホームのすべてがわかるHow to bookと作品集DVDを差し上げます。